

私たちの道 MCWAYを感じる

コーチングと育成責任・成長責任

1. 課題認識

- ・初めてトレーナー業務を引き受けることになったが、ほかの業務にあてる時間との調整が難しいと感じていた。
- ・トレーナー以外のメンバーについても初めて挑戦する業務のアシスト役を期待されていたが、どう行動するのが最適なのがわからず悩んでいた。

2. ティーチングとコーチング

- ・1 on 1でトレーナー業務の難しさについてリーダーと話す、コーチングを意識することのアドバイスを受けた。
- ・それまでのやり方は、「教えなければ」「親切に」と手取り足取りのティーチングになっていたこと、リレーションシップ研修を受講してコーチングについても学び、それをトレーナー業務でいかせることに気づいた。

3. 得られた変化

- ・コーチングをすぐに行動に移すことは簡単ではなかったが、強く意識して自分の取ろうとしている行動がコーチングなのかティーチングなのか考えてから行動に移すように心がけた。
- ・ゴールについて合意し、ブレそうになるたびに何度も確認し、アイデアと自主性を尊重するコーチングを実践することで、相手が主体的に業務に取り組みもっと良くするためのアイデアを出し、期待していた以上の成果を出すようになっていった。
- ・業務のゴール・目的を明確にすること、相手の考えを受け止めること、徹底的によりそうことを学び、自分自身も成長することができた。